



市政運営の考え方

私はこれまでの3年間、「過去に学び」「現状を捉え」「未来につなげる」という市政運営を掲げ、市民の皆さんや職員との意見交換、民間事業者との連携を大切にしながら、財政の健全化を進めるとともに、長らく停滞しておりました公共施設マネジメント、スマートインターチェンジ、空き家対策、小中学校適正配置など、多くの課題に取り組み、着実に前に進めてきました。

令和6年度は、進めてきた改革を止めることなく、議員をはじめとする市民の皆さん、民間企業や学校などの各種団体と協働で取り組み、「オールやすぎ」による、安心・安全で夢の持てる市政づくりを推進し、次の世代につなげるまちづくりを目指します。

引き続き安来市が抱える課題に取り組み、市政の発展と市民福祉の向上をさらに推し進めるために、行政のトップとして、スピード感を持って決断、実行し、全身全霊で市政運営に取り組みます。

目の前にある課題への対応

人口対策

安来市の人口戦略である「第

2期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、令和6年度からは、人口の自然増社会増を図る取り組みを強化するとともに、住民の皆さんが安心して便利で豊かな暮らしが営めるよう、デジタルの力を活用した新たな事業も展開しながら、人口減少対策に取り組みます。(自然増を図る取り組み)

子ども医療費の助成については、医療費の無料対象となる年齢の上限を、令和7年度より、現在の中学3年生から高校3年生に引き上げることとし、令和6年度は医師会等関係機関との調整やシステム改修等の準備を行います。

地元産の金芽米を妊婦に出産するまで無償提供していたマタニティ応援プロジェクトを令和6年度は、出産した子どもが1歳になるまで提供します。

また、令和6年度から、市内の保育施設で提供する給食の米を金芽米に切り替え、無償でご飯を提供し、子どもの健やかな成長を支援するとともに、保護者負担の軽減を図ります。この取り組みは、妊娠、出産期から幼児期、小学校、中学校3年生まで、全ての子ども達に地元産の金芽米を提供する全国初の試みとなります。

(社会増を図る取り組み)

ソフト産業誘致を推進するため、空き物件などを活用した民間によるサテライトオフィス整備と企業誘致の取り組みを一体的に進めます。あわせて、安来市学習訓練センターの一部を企業に貸事務所として提供し、施設の有効活用と企業誘致の促進を進め、雇用の創出と産業の振興を図ります。

(利便性向上を図る取り組み)

令和6年1月から、マルチタスク車両「ぐるっとYasugi号」を交流センターや自治会集会所等に派遣し、各種行政サービスの提供をしています。令和6年度は、高齢者施設・福祉施設等への出張マイナンバーカード交付申請など新たなサービスを行うとともに、期日前投票での活用も検討します。



▲マルチタスク車両「ぐるっとYasugi号」が市内を巡回します。

「オールやすぎ」による 安心・安全で 夢の持てる市政を推進

市議会3月定例会議で田中市長が表明した、令和6年度の市政運営の基本的な考え方と主要施策について抜粋し紹介します。

AIチャットボットは、毎月約1000件の利用があり、特にゴミの分別やイエローバスに関する問い合わせが多く寄せられている状況です。今後とも随時、FAQ（対応できる質問）を追加、更新し、利用者の満足率の向上を図ります。

切川バイパス周辺開発

仮称安来スマートインターチェンジについては、その必要が認められ、昨年9月に「国による準備段階調査箇所」へ選定されました。現在は、関係機関と協力しながら、概略設計などの検討を進めているところであります。今後、早期に地区協議会が開催され具体的な検討が出来るよう、関係機関や市内組織と検討を進めます。

株式会社出雲村田製作所の安来市内への工場立地計画が明らかになり、島根県とともに立地実現に向けて協議を進めています。この計画が実現すれば、市だけではなく、島根県、中海圏域においても、雇用の創出、定住の促進、地域活性化に大きく寄与するものであり、引き続き、島根県と連携し、工場立地の実現に向けて取り組みます。

公共施設マネジメント

住民活動の拠点となる広瀬交流センターと図書室を備えた新

たな複合施設の整備について、令和6年度は、令和5年度に策定した「広瀬複合施設整備基本計画」に基づき、広瀬庁舎敷地を建設地として位置づけ、敷地の測量調査と埋蔵文化財の試掘調査を行います。また、広瀬地域センターは行政機関が集約するエリアへ配置することとし、移転先とスケジュールを検討します。

養護老人ホーム鴨来荘は、特別養護老人ホームしらさぎ苑の駐車場跡地に移転整備を進めており、令和6年度には各種申請手続と工事着手の予定です。令和8年4月の施設運営開始を目指します。

比田防災拠点施設整備事業は、令和5年度に建築と造成の設計を行っており、令和6年度は比田分駐所、比田分団拠点施設の新築工事とヘリポート部分も含めた造成工事、比田小学校のスクールバスの車庫建築工事を行います。あわせて、令和7年度に現在の比田分駐所を解体するため、解体設計委託をします。

令和6年度の主な施策

保健・医療・福祉

●フレイル予防については、

ICTや民間サービス等を活用した持続可能な事業を実施します。

●対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業について、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、令和6年度と令和7年度で準備を進めます。

●安来市南部の中山間地域における訪問介護サービスについて、市街地からのサービス提供には、距離的な問題などにより経費や移動による介護従事者の負担が大きいことから、中山間地域の訪問介護事業所の開設や経営安定までの初期費用を支援し、在宅介護サービスの提供体制の強化を図ります。

●高齢者支援として、認知症患者やそのご家族を支える地域づくりを引き続き行うとともに、認知症予防施策の一つとして、令和6年度から補聴器を購入する際の費用の一部を助成する事業を実施します。

●子どもの居場所づくりのため、子ども食堂の開設など、地域コミュニティの創出に取り組む団体などに開設に係る対象経

費を支援し、地域社会の発展と子どもたちの健やかな成長を図ります。



▲子ども食堂は孤食解消、食育、地域交流の場としての役割も担っています。

子育て・教育・文化

●こども家庭センターを設置し、児童福祉機能と母子保健機能の連携強化を進め、全ての妊産婦、子ども、保護者を対象に、妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援を提供します。

●日常生活を送る上で医療的なケアを必要とする乳幼児、いわゆる医療的ケア児を保育施設で受け入れます。医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職を防止し、誰もが安心して子どもを生み育てることができるよう支援します。

●全ての妊婦・子育て家庭が安

心して出産・子育てができるよう、出産・子育て応援給付金の支給による経済的支援を行うとともに、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して相談に応じる伴走型の相談支援を行います。

また、原油・物価高騰により影響を受けている子育て世帯の家計負担を軽減するため、市内の登録事業者で利用できる商品券を子育て世帯を対象に配布し、子育て世帯の生活支援と市内経済の活性化を図ります。

●中小学校適正配置の検討については、令和5年度に策定した「安来市立小中学校適正配置基本計画」において、再編の対象となる学校を選定し、施設整備の考え方や、再編に向けたおおよそなスケジュールなどを示したところです。今後は、再編校の場所や再編時期などを決定していくために必要な調査・検討を実施するとともに、新しい校区全体として再編についての合意形成が図られるよう協議を進めます。

●学校給食において、栄養豊富な「金芽米」を提供し、子どもたちの健やかな成長の一端を担うとともに、物価高騰により影響を受けている保護者の経済的負担の増加も考慮し、暫定的な措置として、令和6年度の食材

費の高騰分は全額公費で負担します。



▲地元産米を原料とした金芽米を使用し、地産地消にも貢献しています。

●学校と地域が相互に理解を深め、教育活動を充実させることを目指し、学校運営協議会を市内全ての小中学校に設置します。

●全国高等学校総合体育大会が令和7年度に中国ブロックで開催予定であり、安来市は「フエッティング」競技の会場になることから、大会開催に向けて実行委員会を立ち上げ、準備を進めます。

防災・防犯

●令和6年能登半島地震のような大規模災害が発生した際に、速やかに災害応急活動を実施し、被災者の生活環境を確保するため、自衛隊や警察、消防などをはじめとする、様々な関係

機関と連携して、実践的な防災訓練を実施します。

●消防車両について、経過年数と走行距離により老朽化が進み、災害対応への影響が心配される車両を優先的に更新します。



▲令和5年度には高規格救急自動車を更新しました。

●「自ら考え行動する自立した消費者」を育成するために令和元年度に策定した「安来市消費者教育推進計画」を更新し、学校や地域、事業所等の関係機関と連携し、消費者教育の推進に取り組みます。

産業・観光・雇用

●林業DXの推進については、森林航空レーザ計測・解析による成果データを活用し、林政業務や公有林管理に役立つシステムを導入し、森林施業に係る計

画策定・認定業務の効率化を進め、Jクレジット制度の活用も含めた取り組みを進めます。また、伯太町地内の山林において、「林業人材育成拠点」の整備に向け、基本計画に基づく道路改良及び整地の詳細設計、用地取得を行います。

●企業立地雇用促進奨励金事業は、賃借料の助成期間の延長、雇用促進奨励金を増額するとともに、限度額についても5000万円に増額するなど、拡充を図ります。また、新たに用地造成費助成金を新設し、土地の取得に要する経費、造成工事費等にかかる費用の助成を行います。

●観光分野における地域・産業の「稼ぐ力」の回復・強化を図るため、観光庁の補助事業に安来市と島根県も補助を上乗せし、宿泊施設、観光施設を地域一体となって改修することで、観光入込客、滞在時間、観光消費額を増加させ、地域活性化を目指します。

●安来節演芸館については、新しい指定管理者を迎え、民謡安来節の振興と魅力あふれる観光地づくりを目指すとともに、市民にも親しまれる施設として運営し、誘客と市民の利用促進を図ります。また、レストラン棟

に市内飲食店の出店が決まり、演芸館の活気づくりや観光客などの食事ニーズに応え、「さぎの湯温泉」観光エリアの満足度向上を目指します。



▲安来節演芸館は、5月26日にグランドオープンを予定しています。

都市基盤・生活

●公共交通の充実については、新たに安来市公共交通利便性増進計画を策定し、バス路線の見直しや、デマンドタクシーなどの地域に合わせた公共交通サービスなど、具体的な公共交通の形を示します。

●空き家対策については、令和6年度は、住まいの終活ノートを作成・配布し、空き家の活用や適正管理につながるよう啓発を行い対策の推進を図ります。また、管理不全空き家等に対して適正管理を促すための助

言や指導を行い、解体を支援する老朽危険建築物除却の補助制



▲令和5年度には空き家対策に関するガイドブックが発行されました。

度を引き続き実施し、空き家の除却を促します。

●平成22年度に整備した行政告知放送用の機器が、導入後13年が経過しており、行政情報の提供と災害時等の緊急情報発信などが安定的に実施できるよう、放送機器の更新を行います。

自然・環境保全

●安来市の良好な景観の保全や形成を図るために、景観法に定める「景観行政団体」への移行について、島根県と協議を進めます。景観行政団体になることにより、将来的には景観計画や景観条例を定めることが可能となり、都市計画や観光、定住などの施策と連携した景観行政を

推進することで、安来市のイメージアップや交流人口の増加につなげていきます。

●再生可能エネルギーの利用促進について、太陽光発電設備、太陽熱利用設備の設置補助事業に、新たに木質バイオマス熱利用設備の設置を追加し、再生可能エネルギーの普及促進を図るとともに、2050ゼロカーボンシティの実現を目指します。



▲薪ストーブの設置費用も補助の対象になります。

参画・協働・行財政

●令和6年10月で合併から20年を迎えるため、令和6年9月15日に安来市総合文化ホール「アールテピア」で記念式典及び記念事業を開催します。新安来市のことこれまでの歩みを再確認するとともに、更なる飛躍と住民が協働する住みよい活力あるまちづ

くりを目指します。

●地域づくりの推進のため、地域に、地域づくりに関する専門家を派遣し、各地域の現状を把握するとともに、地域課題の解決に向けた相談業務や学習会等の開催など、地域の状況に応じた支援を行います。

●行政経営サービスの向上に向けて、ペーパーレスによる意思決定の迅速化、職員の事務負担の軽減、テレワークの推進等を図るため、令和6年度に行政文書の收受、起案、決裁、保管、廃棄などの一連のライフサイクルを一元管理するシステムを導入し、令和7年度から運用を開始します。

掲載されている令和6年度市長施政方針は抜粋しています。全文は、市ホームページ(右下2次元コード)に掲載していますので、ご覧ください。

トップページ>市政>市長の部屋>施政方針：所信表明



問い合わせ

政策企画課 ☎23-3060

